

【氏 名】山寺 三知(ヤマデラ ミツシ)
【職 名】教授
【学 位】修士(文学)
【生年月日】昭和45年(1970) 8月14日
【本学就任】平成14年(2002) 4月 1日
【略 歴】國學院大學文学部卒業
 國學院大學文学研究科博士課程前期修了
 國學院大學文学研究科博士課程後期単位取得退学

【専門分野】漢文学、中国文学、中国語
【担当科目】漢文学概説Ⅰ・Ⅱ、漢文学講読 A・B、中国語展開Ⅰ・Ⅱ、国文総論、国文基礎演習、漢文学演習、卒業論文Ⅰ、卒業論文Ⅱ
【所属学会】日本中國學會、社団法人東洋音楽学会、國學院大學中國學會
【研究テーマ】中国古代における音楽文化の歴史的研究
【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】[令和2年度～令和6年度(5点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
翻 刻	単 著	「日本楽器学試論―楽器分類法」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』39	令和 4年 3月
著 書	共 著	『歴史学としての日本音楽史研究』	和泉書院	令和 4年 7月
翻 刻	単 著	「唐宋代南蛮三国(ビルマ・ジャワ・カンボジア)の楽器」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』40	令和 5年 3月
翻 刻	単 著	「七絃琴雜記 附、招提寺東塔遺材の琴」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』41	令和 6年 3月
論 文	単 著	楽器学者 太田太郎―その生涯と業績―	『國學院大學北海道短期大学部紀要』42	令和 7年 3月

【令和元年度以前の主な研究業績】(5点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
著 書	共 著	『尺八古琴考』	上海音楽學院出版社	平成17年 7月
著 書	共 著	『楽は楽なりⅡ 中国音楽論集 古楽の復元』	好文出版	平成19年 3月
著 書	共 著	『黄鐘大呂』	文化藝術出版社	平成27年11月
著 書	共 著	『『隋書』音楽志訳注』	和泉書院	平成28年 2月
著 書	共 著	『林謙三『隋唐燕楽調研究』とその周辺』	関西大学出版部	平成29年 3月

【最近の社会的活動】
科研費基盤研究(B)(研究課題番号21H00509、代表:関西大学 長谷部剛)研究分担者(令和3年度～令和6年度)
科研費基盤研究(C)(研究課題番号18K00156)研究代表者(平成30年度～令和6年度)
中京大学先端共同研究機構文化科学研究所 特任研究員(令和元年度～現在)

【氏 名】月岡 道晴(ツキオカ ミチハル)
【職 名】教授
【学 位】修士(文学)
【生年月日】昭和50年(1975) 2月
【本学就任】平成16年(2004) 5月
【略 歴】國學院大學大学院文学研究科日本文学専攻博士課程後期単位取得満期退学

【専門分野】萬葉集研究
【担当科目】国文総論(オムニバス形式)、国文基礎演習、卒業論文Ⅰ・Ⅱ、伝承文学概説Ⅰ・Ⅱ、日本文学講読A、国語学講読A・B、文芸創作展開C
【所属学会】上代文学会理事、美夫君志会理事、萬葉学会会員、古代文学会会員、日本文学協会会員
【研究テーマ】柿本人麻呂の作品研究、上代日本文学における文字表現の研究、古代文学における付属語の研究

【最近5年間の主な研究業績】[令和元年度～令和5年度(5点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	日本書紀の構成と仁徳紀の易名記事	國學院雑誌120巻11号	令和元年11月
論 文	単 著	学界の動向・上代韻文「テキストとしての『萬葉集』／テキストからの万葉歌」	文学・語学229号	令和 2年 9月
論 文	単 著	万葉歌における来歴表現について—贈物歌の形式を中心に—	萬葉集研究第41集	令和 4年 2月
論 文	単 著	萬葉集巻十三は替え歌歌集か—類歌性や無名性、歌の分離接合などから—	萬葉集研究第42集	令和 5年 3月
論 文	単 著	万葉歌の表記における訓仮名の位相—人麻呂歌集を中心に—	古代文学63号	令和 6年 3月

【平成30年度以前の主な研究業績】(5点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	夢に姿を見る—人麻呂歌集巻十・二二四—歌の訓みをめぐって—	國學院雑誌115巻10号	平成26年10月
論 文	単 著	近江荒都歌の構造と視点—「いかさまに思ほしめせか」と「諾しこそ」—	美夫君志91号	平成27年11月
論 文	単 著	梓弓と真弓—久米禅師と石川郎女との問答歌—	国語と国文学93巻11号	平成28年11月
論 文	単 著	「不知代経浪乃去邊白不母」—宇治河邊作歌から見る人麻呂の表記態度について—	上代文学118号	平成29年 4月
論 文	単 著	選択的表現としての万葉集の仮名遣い	古代文学57号	平成30年 3月

【氏 名】堀越 祐一(ホリコシ ユウイチ)
【職 名】教授
【学 位】博士(歴史学)
【生年月日】昭和41年(1966)12月 3日
【本学就任】令和 2年(2020) 4月 1日
【略 歴】國學院大學文学部史学科卒業
國學院大學大学院文学研究科博士課程前期修了
國學院大學大学院文学研究科博士課程後期単位満期取得退学

【専門分野】日本中近世政治史
【担当科目】国文総論、国文基礎演習、日本史概論Ⅰ、史学導入演習Ⅰ・Ⅱ、史学入門A、史学演習A・B、史料講読
【所属学会】國史学会、日本古文書学会、織豊期研究会
【研究テーマ】豊臣政権論
【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】[令和元年度～令和5年度(5点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	「國學院大學図書館所蔵『南都興福寺等文書』の解題と翻刻	『國學院大學校史・学術資産研究』11号	令和元年 3月
論 文	単 著	「関ヶ原合戦における石田三成と毛利輝元」	『國學院大學校史・学術資産研究』12号	令和 2年 3月
論 文	論 文	「伊達政宗の絶縁状」	『滝川国文』37号	令和 3年 3月
単 著	単 著	「石田三成と関ヶ原合戦 —『情報』の観点から西軍敗北の理由をさぐる—」	『滝川国文』39号	令和 5年 3月
単 著	単 著	「羽柴秀吉の北近江・播磨支配に関する一考察」	『滝川国文』40号	令和 6年 3月

【平成 30 年度以前の主な研究業績】(5点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
著 書	共 著	『消された秀吉の真実』	柏書房	平成23年 5月
著 書	共 著	『豊臣政権の正体』	柏書房	平成26年 5月
著 書	共 著	『秀吉研究の最前線』	洋泉社	平成27年 8月
著 書	共 著	『家康伝説の嘘』	柏書房	平成27年11月
著 書	単 著	『豊臣政権の権力構造』	吉川弘文館	平成28年 3月

【最近の社会的活動】
財団法人滝川市生涯学習振興会講座リブrawn講師

【氏 名】若松 広美(ワカツ ヒロミ)
【職 名】教授
【学 位】学士(教育学)
【生年月日】昭和35年(1960)11月
【本学就任】令和 6年(2025) 4月
【略 歴】弘前大学教育学部小学校教員養成課程

【専門分野】教育学
【担当科目】国文総論(オムニバス形式)、国文基礎演習、卒業論文Ⅰ、国語概説、国語科指導法、生徒指導、
教育課程論、国語科教育方法、教育方法論(中学校)、教育相談、教職実践演習(中学校)、
教育実習Ⅰ・Ⅱ

【所属学会】
【研究テーマ】
【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】[令和元年度～令和5年度(5点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月

【平成30年度以前の主な研究業績】(5点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月

【最近の社会的活動】

【氏 名】森 悟朗(モリゴロウ)
【職 名】准教授(国文学科)
【学 位】修士(宗教学)
【本学就任】平成25(2013)年 4 月 1日
【略 歴】慶應義塾大学文学部 人間関係学科社会学専攻 卒業(平成9.3)
 國學院大學大学院文学研究科博士課程前期神道学専攻修了(平成15.3)
 國學院大學大学院文学研究科博士課程後期神道学専攻単位取得退学(平成18.3)
 國學院大學研究開発推進センター 助手(平成18.4～19.3)
 國學院大學研究開発推進機構 助教(平成 19.4～25.3)
 國學院大學研究開発推進機構 共同研究員(平成25.4～現在)

.....
【専門分野】宗教民俗学、宗教社会学、日本近現代宗教史研究
【担当科目】国 学Ⅰ・Ⅱ、日本史概論B、日本の伝統文化(日本の伝統と文化)、神道学・宗教学演習A・B、
 国文基礎演習、卒業論文Ⅰ、卒業論文Ⅱ
【所属学会】日本宗教学会、北海道史研究協議会
【研究テーマ】近現代日本の民俗宗教の宗教民俗学的・宗教社会学的研究。特に近年は神社・寺院に関わる民俗
 宗教と観光との歴史的・社会的関係の研究や、北海道の神社の研究など。
【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】[令和元年度～令和5年度(5点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月

【平成30年度以前の主な研究業績】(5点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
著 書	共 著	神田より子編著『鳥海山麓遊佐の民俗』(第5章第3節「藤崎の年中行事―植林の記憶をめぐる―」執筆)	遊佐町教育委員会	平成18年 3月
著 書	共 著	森悟朗・新井大 祐・大東敬明『言説・儀 礼・参詣―〈場〉と〈いとなみ〉の神道研究―』(第3部「参詣篇―神社と参詣・観光―」執筆)山中弘編著	弘文堂	平成21年 3月
著 書	共 著	山中弘編著『宗教とツーリズム―聖なるものの変容と持続―』(第2章「「湘南」の誕生と江の島の変容」執筆)	世界思想社	平成24年 7月
著 書	共 著	長谷部八朗編著『「講」研究の可能性』(「神風講社と浪花講・三都講・一新講 社」執筆)	慶友社	平成25年 5月
著 書	研究ノート	「北海道の切株・棒杭神社についての覚書―『北海道神社庁誌』を中心に―」	『滝川国文』34号	平成30年 3月

【最近の社会的活動】
滝川市文化財保護審議会委員(平成29.4～現在)
北海道新聞社ぶんぶんクラブ教養講座講師(平成26.11～28.9)
一般財団法人滝川生涯学習振興会市民講座「リブラーン」講師(平成25.9～現在)
國學院大學北海道短期大学部公開市民講座「オープンカレッジ」講師(平成25.7～現在)
「いしかり市民カレッジ」講師(令和5)
北海道神社庁中堅神職講習会講師(平成25.6～現在)

【氏 名】渡辺 開紀(ワタベ カイキ)
【職 名】准教授(国文学科)
【学 位】修士(文学)
【生年月日】昭和55(1980)年 4月22日
【本学就任】平成29(2017)年 4月 1日
【略 歴】國學院大學文学研究科日本文学専攻博士課程後期満期退学

【専門分野】古典文学
【担当科目】古典語の基礎A、古典語の基礎B、日本文学講読B、日本文学演習B、日本語の基礎、日本語基礎、国文基礎演習、卒業論文Ⅰ、卒業論文Ⅱ
【所属学会】國學院大學國文学会(委員)、日記文学会(運営委員)、中古文学会、全国大学国語国文学会
【研究テーマ】『和泉式部日記』を中心とする王朝文学
【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】[令和元年度～令和5年度(5点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	応永本『和泉式部物語』の引歌表現「石見潟」	『中古文学』109	令和 4年 5月
論 文	共 著	応永本『和泉式部物語』注釈稿(1)	『國學院大學北海道短期大学部紀要』41	令和 6年 3月
論 文	共 著	モノから読む『和泉式部日記』	『平安朝の文学と文化』(川村裕子編・武蔵野書院)	令和 6年 4月
口 頭 発 表 論 文	シンポ	「和泉式部物語」の名義	日記文学会第85回大会	令和 6年 8月
論 文	共 著	応永本『和泉式部物語』注釈稿(2)	『國學院大學北海道短期大学部紀要』42	令和 7年 3月

【平成30年度以前の主な研究業績】(5点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	応永本『和泉式部物語』の特質	『日記文学研究誌』11	平成21年 3月
論 文	単 著	応永本『和泉式部物語』の矛盾	『平安文学研究』1	平成21年 9月
論 文	単 著	『和泉式部日記』の服飾表現	『文学・語学』199	平成23年 3月
論 文	単 著	『和泉式部日記』七夕贈答歌をめぐる試論	『國學院大學北海道短期大学部紀要』37	令和 2年 3月
論 文	単 著	応永本『和泉式部物語』の引歌	『滝川国文』38	令和 4年 3月

【最近の社会的活動】
財団法人滝川市生涯学習振興会議座りぶらーん講師〔古典文学〕(平成29.4～現在)
UHB大学一般教養講座講師(令和2.9、令和5.1)
岩見沢市源氏物語を楽しむ会『源氏カフェ』講師(令和5.5～現在)
公益社団法人滝川地方法人会新春講演会講師(令和6.1)

【氏 名】二ノ宮 靖史(ニノミヤ ヤスシ)
【職 名】教授
【学 位】修士(言語学)
【生年月日】昭和43(1968)年 3月14日
【本学就任】平成21(2009)年 4月 1日
【略 歴】上智大学外国語学部英語学科卒業
上智大学大学院外国語学研究科言語学専攻博士前期課程修了
國學院大學文学部兼任講師

【専門分野】音声学、言語学、言語教育、異文化理解
【担当科目】英語リーディング演習、英語基礎演習、日英語比較論、英文法、言語学概論、ゼミナールⅠ・Ⅱ、総合教養
【所属学会】日本音声学会、大学英語教育学会、言語研究学会
【研究テーマ】音と文字の関係、英語・日本語の音声分析、言語教育における指導法、各国の文化
【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】[令和元年度～令和5年度(5点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	「書記行動における書記・文字・用具・表示対象の順相関と逆相関」	『Walpurgis: 國學院 大學外国語文化学科 紀要』2019	平成31年 2月
論 文	共 著	「料理における人名―視覚的記号の指示の観点から」	『國學院大學北海道短期大学部 紀要』36	平成31年 3月
論 文	共 著	「文字論から見た正書法」	『言語の世界』37-2	令和元年12月
論 文	共 著	「文字論・記号論から見たモールス符号」	『國學院大學北海道短期大学部 紀要』37	令和 2年 3月
論 文	共 著	「和製英語の原語回帰」	『言語の世界』40-1	令和 4年 6月

【平成30年度以前の主な研究業績】(5点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
著 書	共 著	『中学総合的研究 三訂版』	旺文社	平成25年 1月
論 文	単 著	「大文字・小文字の多重性―現代の英語表記を例にして」	『國學院雑誌』115-11	平成26年11月
論 文	共 著	「書記装置による絵文字の符号化・デジタル化」	『言語の世界』33-1	平成27年 6月
論 文	単 著	「記号の転用―文字の質的变化の観点から」	『言語の世界』33-2	平成27年11月
論 文	共 著	「視覚印象的記号とその指示物が持つアイデンティティー」	『言語の世界』36-1	平成30年 6月

【最近の社会的活動】
公益財団法人国際文化会館会員(平成12.4～現在)
公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター会員(平成29.4～現在)
言語研究学会会長(令和6.8～現在)

【氏 名】日比生 究(ヒノウ キヲム)
【職 名】教授
【学 位】教育学士
【生年月日】昭和36(1961)年 3月 1日
【本学就任】令和 6(2024)年 4月 1日
【略 歴】北海道教育大学教育学部旭川校中学校教員養成課程卒業
北海道教育庁オホーツク教育局教育支援課長 空知教育局義務教育指導監
北海道岩見沢市立緑中学校校長 岩見沢市立教育研究所専任所員

【専門分野】教科教育学(理科)、教育行政学、学校経営論
【担当科目】教育原理、教育行政学、介護等体験、ゼミナールⅠ・Ⅱ、教育実習Ⅰ・Ⅱ、教職入門、教職実践演習、
道徳教育論、教育社会学、総合教養、自然界のしくみ
【所属学会】日本教育工学会、全国海外子女教育国際理解教育研究協議会
【研究テーマ】令和の日本型学校教育の実現を目指す教員養成の在り方についての研究
教員の資質能力の向上に資する校内研究の在り方についての研究

【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】[令和元年度～令和5年度(5点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	共 著	「令和3年度『研究紀要』」	事業報告書・岩見沢市立教育研 究所	令和 4年 2月
論 文	共 著	「令和4年度『研究紀要』」	事業報告書・岩見沢市立教育研 究所	令和 5年 2月
著 書	共 著	岩見沢市デジタル社会科副読本「いわみ ざわ」	岩見沢市教育委員会	令和 5年 8月
論 文	共 著	「令和5年度『研究紀要』」	事業報告書・岩見沢市立教育研 究所	令和 6年 2月

【平成 30 年度以前の主な研究業績】(5点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
指 導 資 料	共 著	「理科教育指導資料『ものづくりと環境』第34 集	北海道立理科教育センター	平成14年 3月
論 文	単 著	「総合的な学習の時間におけるウェビングの 活用」	北海道立理科教育センター	平成14年 3月
指 導 資 料	共 著	「小学校教育課程編成の手引」「中学校教育 課程編成の手引」	北海道教育委員会	平成20年10月
指 導 資 料	共 著	「小学校教育課程編成の手引」「中学校教育 課程編成の手引」	北海道教育委員会	平成21年 7月
指 導 資 料	共 著	「小学校教育課程編成の手引」「中学校教育 課程編成の手引」	北海道教育委員会	平成22年 8月

【最近の社会的活動】

北海道いじめ問題等解決支援外部専門家チーム員(令和7.4～現在)
北海道雨竜高等養護学校「学校運営協議会」委員長(平令6.6～現在)
北海道滝川西高等学校「学校関係者評価委員会」委員長(平令6.6～現在)
北海道教育史第4期編纂委員(令和5.6～現在)
岩見沢市男女共同参画推進委員会委員(令元4～令和3.3)
岩見沢市通学区域審議会委員(令和2.4～令和3.3)
岩見沢市教科用図書調査委員会委員長(令和2.4～令和2.7)
岩見沢市適正配置計画推進委員会委員(令元4～令和2.3)
岩見沢市小中学校長会会長(令元4～令和2.3)

【氏 名】Timothy M. Blankley (ティモシー・M・ブランクリー)
【職 名】准教授(総合教養学科)
【学 位】Master of Education (TESOL)
【生年月日】昭和37(1962)年 5月16日
【本学就任】平成 9(1997)年 4月 1日
【略 歴】The University of Southern Queensland

【専門分野】applied linguistics(応用言語学)
【担当科目】英語コミュニケーション A、英語コミュニケーション B、英語コミュニケーション C、TOEIC Bridge、
英語表現法、ゼミナールⅡ、総合教養
【所属学会】JALT(全国語学教育学会)
【研究テーマ】TESOL(第二言語としての英語教授法)
【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】[平成 27 年度～令和元年度(5 点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
学 会 発 表 学 会 発 表 学 会 発 表	単 著	“Why bears are hunted—extensive reading with local texts”	全国語学教育学会研究大会	平成28年10月
	単 著	“Changing Minds with the colored hats”	全国語学教育学会研究大会	平成29年10月
	単 著	“Assumptions challenged, emotions engaged, and significance discovered”	CamTESOL 第 16 回年次大会	平成30年 2月

【平成 26 年度以前の主な研究業績】(5 点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	“Interrogating code-switching in task-based language teaching”	Language Studies 21 s (小樽商科大学)	平成25年 3月
学 会 発 表	共 著	“Will it blend? —unboxing the product”	大学英語教育学会北海道支部 研究会	平成26年11月

【最近の社会的活動】
滝川市立高等看護学院講師(英語、平成10.4～現在)

【氏 名】南 孝典(ミナミ タカリ)
【職 名】准教授、キャリアセンター長
【学 位】修士(教育学、社会学)
【生年月日】昭和50(1975)年02月13日
【本学就任】令和04(2022)年04月01日
【略 歴】文教大学人間科学部卒業
埼玉大学大学院教育学研究科修士課程修了
一橋大学大学院社会学研究科博士前期課程修了
一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程単位取得修了

【専門分野】哲学、倫理学、社会学
【担当科目】哲学、倫理学(倫理学A)、西洋哲学史A・B、ゼミナールⅠ・Ⅱ、社会学、論理学、現代社会事象、西洋思想史、キャリア演習A・B
【所属学会】日本哲学会、一橋大学哲学・社会思想学会、唯物論研究協会、東京唯物論研究会、札幌唯物論研究会
【研究テーマ】生命倫理、現象学、存在論
【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】[令和元年度～令和5年度(5点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	「フッサール現象学を理解する際の避けがたい困難さについて」	『国学院大学北海道短期大学部紀要』40	令和 5年 3月
著 書	共 著	『生命の倫理学』	大月書店	令和 5年 3月

【平成 30 年度以前の主な研究業績】(5点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	「フッサールにとってカントを語ることの意義とは何か——『危機』と関連草稿における「カント批判」を中心に——」	『フッサール研究』6	平成 20 年 3 月
著 書	共 著	『西洋哲学の軌跡』	晃洋書房	平成 24 年 4 月
単 著	共 著	『危機に対峙する思考』	梓出版	平成 27 年10 月
論 文	単 著	「事物からではなく世界から思考すること——フインクのカント論に関する一考察」	『唯物論研究年誌』23	平成 30 年11 月

【最近の社会的活動】

【氏 名】山崎 皓介(ヤマザキ コウスケ)

【職 名】助教

【学 位】博士(法学)

【生年月日】平成 3(1991)年 2月 8日

【本学就任】令和 3(2021)年

【略 歴】北海道大学法学部卒業

北海道大学大学院法学研究科法学政治学専攻修士課程修了

北海道大学大学院法学研究科法学政治学専攻博士後期課程修了

【専門分野】憲法

【担当科目】憲法A、憲法B、法学(日本国憲法)、法学入門、ゼミナールⅠ・Ⅱ、総合教養(分担)

【所属学会】日本公法学会、憲法理論研究会

【研究テーマ】違憲審査制、法的推論

【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】[令和元年度～令和5年度(5点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	「公法判例研究」	『北大法学論集』70-6	令和 2年 3月
論 文	単 著	「違憲判断の多様化・弾力化理論(1)——過小包摂立法の違憲判断を端緒として——」「部分無効と立法者意思」	『北大法学論集』71-1	令和 2年 5月
論 文	単 著	「違憲審査の法的構造:試論」 「比較衡量の4要素——違憲審査における法的推論の分析」	『憲法理論叢書28可能性のさらなる開拓』	令和 2年12月
学 会 発 表			北海道公法研究会	令和 4年 2月
学 会 発 表			北海道公法研究会	令和 5年 3月

【平成30年度以前の主な研究業績】(5点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	「アメリカにおける可分性の法理について」	『北大法政ジャーナル』21・22	平成27年12月

【氏 名】板垣 由美子
【職 名】助教
【学 位】修士(経済学)
【生年月日】昭和57年 2月 8日
【本学就任】令和 5年 4月 1日
【略 歴】東京都立大学経済学部卒業
東京大学大学院経済学研究科修士課程修了
東京大学大学院経済学研究科博士課程単位修得満期退学

.....
【専門分野】日本経済史、経営史
【担当科目】日本の経済、経済入門、経済理論入門、経済学、経済史入門、経済基礎演習、史学演習A・B、ゼミナールⅠ・Ⅱ、総合教養、まちづくりⅠ
【所属学会】政治経済学・経済史学会、社会経済史学会
【研究テーマ】大正～昭和初期における北海道および地場企業、戦時期における流通統制および商工業者整備
【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】[令和 2 年度～令和 6 年度(5 点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	「日本アスパラガス株式会社の 事業展開」	『國學院大学北海道短期大学部紀要』42	令和 7年 3月
論 文	単 著	「瑞洋食品研究所における缶詰製造:日本アスパラガス株式会社の実態解明にむけて」	『國學院大学北海道短期大学部紀要』41	令和 6年 3月

【令和元年度以前の主な研究業績】(5 点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	「酒類販売統制機関の実態－1941 年～1945 年における資金調整」	『歴史と経済』52(1)	平成21年12月
論 文	単 著	「酒類流通における流通統制の影響－酒類卸売業者の分析」	東京大学ものづくり経営研究センターディスカッションペーパーNo.338	平成23年 3月
論 文	共 著	「In quality among Industry and Companies: Comparison of Business Activities to Mitigate Climate Change in Japanese Consumer Industries(Part 1)」	The Japan Journal, Vol.12 NO.9	平成27年12月
論 文	共 著	「In quality among Industry and Companies: Comparison of Business Activities to Mitigate Climate Change in Japanese Consumer Industries(Part2)」	The Japan Journal, Vol.12 No10	平成28年 1月

【最近の社会的活動】

【氏 名】寺嶋 将(テラシマ ショウ)
【職 名】助教(総合教養学科)
【学 位】修士(経済学)
【生年月日】平成 6年 6月 1日
【本学就任】令和 6年 4月 1日
【略 歴】國學院大學経済学部経済学科卒業
 國學院大學大学院経済学研究科博士前期課程経済学専攻修了
 税理士法人エー・ティー・オー財産相談室

【専門分野】会計学、租税法
【担当科目】会計学/会計入門、簿記/簿記の基礎、企業論/企業研究、経済基礎演習、ビジネス実務総論、
 職業論、職場の人間関係、まちづくりⅠ、ゼミナールⅠ、ゼミナールⅡ、総合教養
【所属学会】
【研究テーマ】財務会計、所得税法、相続税法、消費税法等
【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】[令和2年度～令和6年度(5点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	「給与所得控除の再検討:給与所得者における必要経費の検討を中心に」	國學院大學北海道短期大学部 紀要42	令和7年 3月

【平成30年度以前の主な研究業績】(5点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	給与所得控除の現代的意義(学位論文)	國學院大學大学院経済学研究 科経済学専攻	平成31年 1月

【最近の社会的活動】
北海道滝川西高等学校「職業論」講師(令和6.12)

【氏 名】今野道裕
【職 名】教授
【学 位】学士(教育学北海道教育大学札幌分校小学校教員養成課程(国語科))
【生年月日】1955年 7月26日
【本学就任】2021年 4月
【略 歴】

1978年4月より 網走管内の小学校教諭を歴任
2006年3月 大空町立女満別小学校を退職
2006年4月 市立名寄短期大学(名称変更:現名寄市立大学)児童学科教授
2016年4月 名寄市立大学保健福祉学部社会保育学科教授(学科4大化に伴う)
2021年3月 名寄市立大学を退職
2021年4月 國學院大學北海道短期大学部・児童教育学科幼児保育コース教授
現在に至る

【専門分野】児童文化
【担当科目】子どもと言葉・日本語の基礎・保育内容「言葉」・子どもと造形表現Ⅰ・子どもと造形表現Ⅱ 総合表現Ⅰ・総合表現Ⅱ・教育と福祉の基礎・教職実践演習・保育実習指導Ⅱ
【所属学会】北海道教育学会
【研究テーマ】異年齢・異世代間交流におけるおもちゃ・遊びの役割北海道の人形劇の歴史と役割
【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】[令和元年度～令和5年度(5点まで)]				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月

【平成30年度以前の主な研究業績】(5点まで)				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
著書	単著	「作ってあそべる製作ずかん～3・4・5歳児の保育に～」	学研	平成25年12月

【最近の社会的活動】
・北海道教育委員会幼児教育地域相談員(2019年10月～現在)
・北海道幼稚園教諭養成校協議会研修委員(北海道幼児教育連絡協議会研修委員兼務 2021-)
・NPO北海道人形劇協会理事(2024年8月～理事長・現在)
(北海道人形劇フェスティバル開催(毎年)2019中川(60th)他)
・NPO 芸術と遊び創造協会会員(2021-22夏の芸術教育学校講師(東京))
・北海道教育学会会員(2007年～現在)
・人形劇公演及び手づくりおもちゃ講師等
＜2024年度＞4/22中川町教育委員会 7/19滝川市高齢者支援施設コスモス 7/31中川町教育委員会 8/20滝川市障害児デイサービスタンポポの家 8/21留萌市千鳥児童館 10/12-14札幌市やまびこ座(64th北海道人形劇F) 11/1北海道福祉協議会保育士研究会絵画分科会講師 11/10根室市図書館 11/23中空知図書館ネットワークおはなしカーニバル(赤平) 11/30-12/1十勝人形劇F 12/20北見市ことばの教室親の会 3/21中空知図書館ネットワーク絵本講演(芦別)
＜2023年度＞4/17中川町教育委員会 7/25中川町教育委員会 8/1羽幌町子育て支援センター 9/30-10/1ニセコ町町民センター(63th北海道人形劇F) 10/18滝川市障害児デイサービスタンポポの家 10/19-20札幌市中島児童館(学び塾講師) 11/3大空町(東藻琴・女満別図書館) 11/12根室市図書館 11/19中空知図書館ネットワークおはなしカーニバル(浦臼) 12/15北見市ことばの教室親の会 12/20旭川市指導支援施設きらり
＜2022年度＞6/19秩父別教育委員会 7/12帯広市帯広保育所 7/25中川町教育委員会 8/20留萌市児童館 8/5-6NPO芸術と遊び創造協会夏の学校講師(東京) 9/5中川町教育委員会 10/9根室市図書館 9/23-24札幌市やまびこ座(62th北海道人形劇F) 11/15新ひだか町本桐保育所 12/16北見市ことばの教室親の会
＜2021年度＞7/24幼稚園免許更新講習講師(札幌) 8/6 NPO芸術と遊び創造協会夏の学校講師(東京) 10/10根室市図書館 10/16-17札幌市やまびこ座 11/4・7札幌市中島児童館学び塾講師 12/17北見市ことばの教室親の会 1/8-10札幌人形劇祭審査員(やまびこ座) 1/14中川町教育委員会
＜2020年度＞9/29名寄市名寄幼稚園 10/24中川町教育委員会 11/22根室市図書館
・札幌市中島児童館・こぐま座・やまびこ座資料室情報誌「M & SO・BO 通信」本シェルジェ執筆担当(2020年)1

【氏 名】草薙 恵美子(クサナギ エミコ)

【職 名】教授

【学 位】教育学修士、理学修士

【生年月日】昭和33(1958)年 4月19日

【本学就任】平成13(2001)年 4月 1日

【略 歴】奈良女子大学理学部化学科卒業

奈良女子大学大学院理学研究科化学専攻修士課程卒業

北海道大学大学院教育学研究科博士後期課程教育学専攻単位修得退学

【専門分野】発達心理学

【担当科目】発達心理学Ⅰ・Ⅱ、教育心理学、臨床心理学、教職実践演習、保育内容(人間関係)、保育内容(環境)、子どもと環境、教育と福祉の基礎、保育実習指導Ⅲ、保育実習Ⅲ

【所属学会】Society for Research in Child Development、日本心理学会、日本発達心理学会、日本教育心理学会、日本保育学会、北海道心理学会、日本内分泌攪乱物質学会

【研究テーマ】子どもの気質発達、子どもの発達への環境化学物質暴露の影響

【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】[令和2年度～令和6年度(5点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
学 会 発 表	共 著	Effects of the home environment, exposure to metals, and food nutrition on temperament of Japanese children.	The 32nd International Congress of Psychology	令和 3年 7月
論 文	共 著	Levels of toxic and essential elements and associated factors in the hair of Japanese young children.	Int J Environ Res Public Health, 20, 1186.	令和 5年 1月
学 会 発 表	共 著	Level of metals in deciduous teeth and the development of children's temperament.	SRCD 2023 Biennial Meeting	令和 5年 3月
学 会 発 表	共 著	子どもの乳歯エナメル質中金属濃度と毛髪中金属濃度の関係	第2回環境化学物質3学会合同大会	令和 5年 5月
学 会 発 表	共 著	The longitudinal relationships of metal exposures and nutrition with adolescent development.	The 33rd International Congress of Psychology	令和 6年 7月

【令和元年度以前の主な研究業績】(5点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	乳児の気質の構造:情動表出傾向及び接近傾向における一考察	発達心理学研究,4,42-50,1993.	平成 5年 7月
論 文	共 著	乳児の気質的特徴としての情動表出におけるスタイルは存在するか	教育心理学研究,45,96-104.	平成 9年 3月
論 文	共 著	The Development of Infant Temperament and Its Relationship with Maternal Temperament.	Psychologia, 57, 31-48.	平成26年 3月
論 文	共 著	Children's Hair Mercury Concentrations and Seafood Consumption in Five Regions of Japan.	Arch Environ Contam Toxicol, 74(2), 259-272.	平成30年 1月
論 文	共 著	日本語版「児童期中期における気質質問紙(TMCQ)」の心理測定的性質	札幌医科大学医療人育成センター紀要, 11, 1-4.	令和 2年 3月

【最近の社会的活動】

滝川市保健医療福祉推進市民会議委員(平成26年5月～現在)

北海道心理学会研究奨励賞選考委員会委員長(平成28年度)

【氏 名】田中 一徳(タナカ カズノリ)
【職 名】教授(幼児・児童教育学科 幼児保育コース)
【学 位】修士(教育学)
【生年月日】昭和45(1970)年 7月17日
【本学就任】平成21(2009)年 4月 1日
【略 歴】東京学芸大学教育学部人間科学課程生涯スポーツ専攻コミュニティスポーツ選修卒業
東京学芸大学大学院教育学研究科保健体育専攻生涯スポーツ講座コミュニティスポーツ分野修了

【専門分野】ウエルネス、野外教育、体験学習、生涯スポーツ、レクリエーション
【担当科目】ディスカバリー北海道、健康科学、野外実習(野外体験)、スポーツ演習 A・B、レクリエーション理論・実技・現場実習、子どもと健康、保育内容(健康)、教職実践演習、留学・海外研修等による単位認定科目、保育実習指導Ⅰ、保育実習Ⅰ他
【所属学会】日本ウエルネス学会、日本野外教育学会、日本登山医学会、日本体育・スポーツ・健康学会
【研究テーマ】ウエルネスをテーマとした健康行動の測定および自然体験活動に関する研究
【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】[令和 2 年度～令和 6 年度(5 点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	共 著	スノーシュー歩行および雪洞作成後の雪洞滞在時における身体的ストレスの変化	『登山医学』40	令和 2 年12月
論 文	単 著	自然を活かした園庭における遊びに関する安全教育の検討：保育者養成校における実践事例	『國學院大學北海道短期大学部紀要』38	令和 3 年 3 月
論 文	共 著	雪洞滞在時の手指及び足指加温が生理学的指標と主観的温度感覚に及ぼす影響	『登山医学』41	令和 3 年12月
論 文	単 著	大学構内のアウトドアキャンパスにおけるソロキャンプが保育者志望学生に及ぼす影響について：國短キャンパスアドベンチャープログラム(K-CAP)の実践事例	『國學院大學北海道短期大学部紀要』39	令和 4 年 3 月
学 会 発 表	共 著	雪洞滞在時における保温用アルミシートが身体的ストレスに及ぼす影響：内外覆いと外覆いの比較	『第 44 回日本登山医学会学術集会プログラム・抄録集』	令和 6 年 6 月
【令和元年度以前の主な研究業績】(5 点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	滝川市におけるノルディックウォーキングを用いた健康教育講座の効果に関する検討	『國學院大學北海道短期大学部紀要』33	平成28年 3 月
論 文	共 著	外気温-3℃における雪洞滞在時の生理的ストレスの変化	『登山医学』38	平成30年12月
論 文	共 著	北海道道北地方におけるアウトドアレクリエーションが大学生の気分プロフィール(POMS)およびストレスに及ぼす影響	『國學院大學北海道短期大学部紀要』36	平成31年 3 月
論 文	共 著	外気温氷点下 13℃における 3 時間雪洞滞在時の生理的ストレスの変化	『登山医学』39	令和元年12月
論 文	共 著	クロスカントリースキー後の雪洞滞在時における生理的ストレスの変化	『登山医学』39	令和元年12月

【最近の社会的活動】
北海道滝川市社会教育委員会委員(平成26.5～現在)
北海道上砂川町認定こども園等複合施設運営委員会(令和5.3～令和7.3)
エフエムなかそらちFM G'sky番組審議委員会 委員長(平成26.5～現在)
そら地域活性化ネットワーク事務局長(平成27.6～現在)
日本ウエルネス学会理事(平成28.4～現在)
一般社団法人滝川国際交流協会理事(令和元.5～現在)

【氏 名】武石 英孝(タケイ ヒデタカ)
【職 名】教授
【学 位】教育学士
【生年月日】昭和33(1958)年11月28日
【本学就任】令和 3(2021)年 4月 1日
【略 歴】北海道教育大学(札幌校)卒業
北海道立高等学校教諭(1981.4～2021.3)

【専門分野】美術(絵画制作)
【担当科目】子どもと環境、造形の基礎、造形表現Ⅰ・Ⅱ、保育内容(表現)、総合表現Ⅰ・Ⅱ、保育実習指導Ⅱ、
教育と福祉の基礎
【所属学会】公益社団法人日展、一般社団法人光風会、一般社団法人日本美術家連盟、
北海道美術協会、岩見沢美術協会
【研究テーマ】油彩絵画技法(ミクストメディアを含む)の表現方法について
【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】[令和2年度～令和6年度(5点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
作 品	絵 画 (油彩)	改組新第7回「日展」特選受賞	公益社団法人 日展 (国立新美術館)	令和 2年10月
		北海道文化奨励賞受賞	北海道 (文化局文化振興)	令和 2年10月
		改組新第8回「日展」出品	公益社団法人 日展 (国立新美術館)	令和 3年10月
		改組新第9回「日展」出品	公益社団法人 日展 (国立新美術館)	令和 4年10月
		第110回光風会展出品	一般社団法人光風会 (国立新美術館)	令和 6年 4月

【令和元年度以前の主な研究業績】(5点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
作 品	絵 画 (油彩)	昭和53年より 北海道美術協会展出品(受賞5回)	北海道美術協会	昭和53年～
		平成15年より 光風会出品(受賞3回)	一般社団法人 光風会	平成15年～
		平成19年より 日展出品(令和2年特選受賞・令和3年会友 推挙)	公益社団法人 日展	平成19年～
		「命の脈動・武石英孝」展 特別企画展「武石英孝展」開催	市立小樽美術館企画 岩見沢市 (岩見沢市絵画ホール)	平成30年 令和 2年

【最近の社会的活動】
・岩見沢在作家展(岩見沢市絵画ホール・松島正幸記念館 企画展)出品
・さいとうギャラリー企画展(夏・冬)出品
・北海道美術協会中空知支部展・招待出品

【氏 名】栗井 康裕(アワイ ヤスヒロ)
【職 名】教授
【学 位】教育学士
【生年月日】昭和36(1961)年 5月18日
【本学就任】令和 4(2022)年 4月 1日
【略 歴】北海道教育大学旭川校卒業
滝川市教育委員会教育部指導参事
(指導主事滝川市立滝川第一小学校長

【専門分野】教科教育学(理科・算数数学)、教員養成、生徒指導
【担当科目】理科指導法、算数概説、算数科指導法、教育課程論、教育方法論、職業研究C、図書館概論、
小学校教育実習Ⅱ、教職実践演習、ゼミナールA・B
【所属学会】空知作文教育研究会、空知理科教育研究会、空知生徒指導研究会
【研究テーマ】教職課程履修者の意識の醸成と教育実践に関する効果的な指導法について
【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】[令和元年度～令和5年度(5点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	共 著	「思考力・判断力・表現力を育てる授業の構築」～算数科における「数学的活動」を通して～	『滝川市立滝川第一小学校研究紀要』	令和 3年11月
論 文	単 著	教育実習に関する研究－教育実習を通じた意識の変化について	『國學院大學北海道短期大学部紀要』41	令和 6年 3月

【平成30年度以前の主な研究業績】(5点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
著 書	共 著	生徒指導ハンドブック第6集『いじめを克服する』	空知生徒指導研究会	平成 9年 3月
著 書	共 著	生徒指導ハンドブック第7集子どもの心をつかむ	空知生徒指導研究会	平成11年 3月
論 文	共 著	異学年交流の中で自然に学ばせるICTの有効活用と情報モラル～学校行事への取り組みの中で～	『深川市立一已小学校成果報告書』	平成23年 4月
論 文	共 著	「人権教育の発想を生かした教育活動の推進」	由仁町立由仁小学校人権教育推進事業成果報告書	平成24年 4月

【最近の社会的活動】
滝川市高等学校教育のあり方に関する検討市民会議委員長(令和6.11～現在)
北海道いじめ問題等解決支援外部専門家チーム員(令和5.4～令和7.3)
北海道教育庁空知教育局子供の自殺が起きたときの背景調査に係る意見聴取会委員(令和5.4～令和7.3)
滝川市子ども・子育て会議委員長(令和6.6～現在)
滝川市教育委員会の権限に属する事務の外部評価委員会委員長(令和5.4～現在)
滝川市まち・ひと・しごと創生会議委員(令和5.12～現在)
長沼町いじめ防止専門委員会委員(令和5.12～現在)
北海道滝川高等学校学校評議員(令和5.4～現在)
空知作文教育研究会顧問(令和4.4～現在)
滝川市環境市民委員会副委員長(令和元.7～令和3.7)

【氏 名】橋本 展晴(ハシモト ノブハル)
【職 名】教授
【学 位】教育学士
【本学就任】令和 7(2025)年 4月 1日
【略 歴】北海道教育大学釧路分校教育学部卒業

【専門分野】教育学
【担当科目】社会概説、生徒指導とキャリア教育の基礎、生活概説、道徳教育論、職業研究B、小学校教育実習Ⅰ、社会科指導法、生活科指導法、ゼミナールA、ゼミナールB
【所属学会】
【研究テーマ】児童生徒が主体的に学び、確かな学力の育成を図る学習指導のあり方
【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】[令和2年度～令和6年度(5点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	共 著	令和6年度滝川市立江陵中学校研究紀要「共に学び、高め合う生徒の育成～「インプット」から「アウトプット」の力へ～」	滝川市立江陵中学校	令和 7年 3月
論 文	共 著	令和5年度滝川市教育振興会指定公開研究会研究紀要「共に学び、高め合う生徒の育成～「インプット」から「アウトプット」の力へ～」	滝川市立江陵中学校	令和 5年11月
論 文	共 著	令和4年度滝川市道徳教育推進事業実践報告書「自分のよりよい生き方についての考えを深める道徳科」～主体的・協働的な学習を通して～	滝川市教育委員会	令和 5年 3月
論 文	共 著	令和3年度滝川市道徳教育推進事業実践報告書「自分のよりよい生き方についての考えを深める道徳科」～主体的・協働的な学習を通して～	滝川市教育委員会	令和 4年 3月

【令和元年度以前の主な研究業績】(5点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	共 著	平成29年度第55回空知校長会研究大会「『新たな知を拓き、人間性豊かな社会を築く日本人の育成を目指す学校教育の推進』～ふるさと空知から世界を見つめ、新しい社会の形成に向けて挑む子どもを育てる学校経営の推進～」(研究紀要第55号)	空知校長会	平成29年11月
論 文	共 著	平成22年度第38回北海道特別活動研究会空知・岩沢大会研究紀要「自己の生き方についての考えを深めながら、よりよい生活や人間関係を築く力を高める特別活動」	北海道特別活動研究会	平成22年10月

【最近の社会的活動】

【氏 名】山川 俊巳(ヤマカワトシ)
【職 名】准教授
【学 位】教育学士
【本学就任】令和 5年(2023) 4月 1日
【略 歴】北海道教育大学旭川分校教育学部小学校教員養成課程(理科)卒業

【専門分野】教育学
【担当科目】教育原理、教師論、教育相談、理科概説、特別活動論、総合的な学習の時間、
総合的な学習の時間と特別活動の指導法、進路指導とキャリア教育の基礎、ゼミナールA・B
【所属学会】北海道中学校理科教育研究会
【研究テーマ】理科教育・総合的な学習の時間・学校経営
【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】[令和2年度～令和6年度(5点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
研 究 紀 要 研 究 紀 要	単 著	できることを伸ばす学校づくり	北海道中学校長会誌「全道中」	令和04年03月
	共 著	小規模・複式学級の特性を生かした学級経営と学習指導の深化・充実をめざして	旭川市小規模・複式教育研究連盟「足跡(第46集)」	令和04年03月

【平成30年度以前の主な研究業績】(5点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	中学校第2分野(生物的分野)における身近な素材の教材化の検討	北海道立理科教育センター研修集録	平成10年09月
論 文	単 著	生徒の思考の過程を大切に、科学的な見方や考え方を育てる理科学習	日本科学教育学会研究会研究報告 Vol.20	平成18年02月

【最近の社会的活動】
旭川市小規模・複式教育研究連盟会長(令和3.4～4.3)
北海道中学校理科教育研究会顧問(～現在)

【氏 名】菅原 健太(スガワラ ケンタ)
【職 名】准教授(幼児・児童教育学科幼児保育コース)
【学 位】修士(教育学)
【生年月日】昭和56(1981)年 1月31日
【本学就任】平成30(2018)年 4月 1日
【略 歴】北海道大学教育学研究科博士後期課程単位取得退学

【専門分野】教育学
【担当科目】教育原理、幼児理解と教育相談の基礎、保育制度論、教育方法論、教育課程論、子ども家庭福祉、子ども家庭支援論、幼稚園教育実習
【所属学会】日本教育社会学会、北海道教育学会、北海道社会学会
【研究テーマ】青年期における自己意識と就業意識の表れ方について
【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】[令和2年度～令和6年度(5点まで)]				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単 著	「言葉」の教育方法についての一考察―「幼稚園教育要領」の振り返りから―	豊岡短期大学紀要第17号	令和 2年 2月
論文	単 著	教育課程の変遷から見る教育・保育の今日的課題―「教育相談」のあり方に注目して―	國學院大學北海道短期大学部紀要第 37 卷	令和 2年 3月
論文	単 著	実習における「気づき」の言語化について―「保育所と幼稚園の違い」に注目して―	國學院大學北海道短期大学部紀要第 41 卷	令和 6年 3月

【令和元年度以前の主な研究業績】(5点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単 著	「教職課程「教育原理」におけるアクティブラーニングの意義と課題」	『豊岡短期大学論集』13	平成 9年 4月
論文	単 著	「デューイ教育学における「学校という場」の現代的状況について」	『豊岡短期大学論集』14	平成30年 4月
テキスト	単 著	豊岡短期大学通信課程『教育原理別冊』	豊岡短期大学通信課	平成30年 4月
テキスト	共 著	豊岡短期大学通信課程『教育原理』	豊岡短期大学通信課	平成31年 4月

【最近の社会的活動】

【氏 名】秋元 彩佳(アキモ サヤカ)
【職 名】准教授
【学 位】修士(音楽)
【生年月日】昭和55(1980)年08月19日
【本学就任】令和03(2020)年04月01日
【略 歴】東京藝術大学音楽学部声楽科卒業
東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程声楽(独唱)専攻修了
札幌大谷大学芸術学部音楽学科非常勤講師

【専門分野】音楽 声楽
【担当科目】ピアノ実技Ⅰ・Ⅱ、子どもと音楽表現、音楽の基礎、音楽表現Ⅰ・Ⅱ、保育実習指導Ⅰ、総合表現Ⅰ・Ⅱ、教職実践演習
【所属学会】日本声楽発声学会
【研究テーマ】コロラトゥーラ技法、近現代フランス歌曲演奏法、子どもの歌
【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】[令和 2 年度～令和 6 年度(5 点まで)]				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単 著	保育現場における子どもの歌の選曲基準に関する一考察—子どもの声域に着目して—	國學院大學北海道短期大学部紀要第 37 巻	令和 2 年 3 月
論文	単 著	小学校歌唱共通教材における伴奏付けの一考察—北海道公立学校教員採用候補者選考検査(音楽実技検査)出題曲における簡易伴奏付けを中心に—	國學院大學北海道短期大学部紀要第 39 巻	令和 4 年 3 月
論文	単 著	幼稚園教諭・保育士養成課程におけるピアノ奏法理解への一考察—ピアノ奏法基本のアンケートを基に—	國學院大學北海道短期大学部紀要第 41 巻	令和 6 年 3 月
演奏	ソプラノ ソリスト	PMF2024 リンクアップ・コンサート	主催/公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会、札幌市場所/札幌コンサートホール Kitara 大ホール	令和 6 年 7 月